

令和5年度予算のあらまし

令和5年度那珂川町一般会計予算は、8,550,000千円となり、前年度予算に対し、520,000千円増（6.5%増）となった。この主な要因は、令和5年度から本格化するケーブルテレビ光化事業への繰出金、馬頭総合福祉センター駐車場整備費、南那須地区広域行政事務組合負担金が増額したことによるものである。

また、新規事業として、小中学校の学校給食費を半額免除する事業や、こども医療費について、対象を現行の15歳までから、18歳までとする事業等を実施する。

特別会計は、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業特別会計で減額となったが、ケーブルテレビ事業特別会計において、光化事業による大幅な増額により、特別会計の予算総額は6,039,000千円となり、前年度予算に対し、1,028,000千円の増（20.5%増）となった。

ケーブルテレビ事業特別会計予算は、1,380,000千円で、ケーブルテレビ光化事業などの増により、前年度予算に対し、1,090,000千円の増（375.9%増）となった。

国民健康保険特別会計予算は、2,075,000千円で、保険給付費の減により、前年度予算に対し、54,000千円の減（2.5%減）となった。

後期高齢者医療特別会計予算は、237,000千円で、後期高齢者医療広域連合への納付金の減により、前年度予算に対し、5,000千円の減（2.1%減）となった。

介護保険特別会計予算は、2,000,000千円で、居宅介護サービス給付費の増があるものの、前年度予算同額となった。

下水道事業特別会計予算は、278,000千円で、公債費の減により、前年度予算に対し、23,000千円の減（7.6%減）となった。

農業集落排水事業特別会計予算は、69,000千円で、施設管理費の増により、前年度予算に対し、20,000千円の増（40.8%増）となった。

水道事業会計予算は、702,700千円で、施設管理費の増により、前年度予算に対し、7,200千円の増（1.0%増）となった。

これにより、一般会計及び各特別会計並びに水道事業会計の予算総額は、15,291,700千円となり、前年度予算と比較して、1,555,200千円の増（11.3%増）となった。

一般会計における歳入の財源内訳、歳出の性質別内訳は、次のとおりとなった。

●歳入内訳

区 分	予 算 額	構 成 比	対前年度比
自 主 財 源	3, 5 6 1, 2 3 9千円	4 1. 7 %	1 4. 9 %増
依 存 財 源	4, 9 8 8, 7 6 1千円	5 8. 3 %	1. 2 %増

●歳出内訳

区 分	予 算 額	構 成 比	対前年度比
投 資 的 経 費	5 8 5, 7 8 4千円	6. 9 %	6. 8 %増
消 費 的 経 費	5, 2 7 9, 1 5 6千円	6 1. 7 %	1. 9 %増
その他の経費	2, 6 8 5, 0 6 0千円	3 1. 4 %	1 6. 7 %増

歳入の構造の自主財源において、令和5年度は、物価高騰の影響により、法人の減収が見込まれるため法人町民税を減額とした。また、本年度はケーブルテレビ事業特別会計繰出金に光化事業分として合併振興基金を300,000千円繰り入れるほか、財源不足分に財政調整基金を繰り入れるなど、3,561,239千円（対前年度比461,078千円増、14.9%増）を計上した。依存財源について、国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の減により減額となった。普通交付税においては、国の令和5年度臨時財政対策債概算要求額減少に伴い、現金交付分が増額すると見込み増額とした。町債については、町道改良舗装事業などに充当することとし、将来の財政負担に支障がないように過疎対策事業債などの有利な起債を活用する。また、財源補てんに充当する臨時財政対策債については、国の令和5年度概算要求額減少を踏まえて、150,000千円を計上した。この結果、依存財源は、4,988,761千円（対前年度比58,922千円増、1.2%増）となった。

歳出については、町民の負託に応えるため、事業の平準化に努めるとともに、創意工夫と柔軟な発想を持って、前例や既成概念にとらわれず、必要性、緊急性、費用対効果を検証し、予算を編成したところである。ケーブルテレビ光化事業の本格化により、対前年度比520,000千円増、6.5%増の予算となるが、「第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画」及び、「那珂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた各種施策を着実に推進していくための予算を措置した。